

さ・神港労連

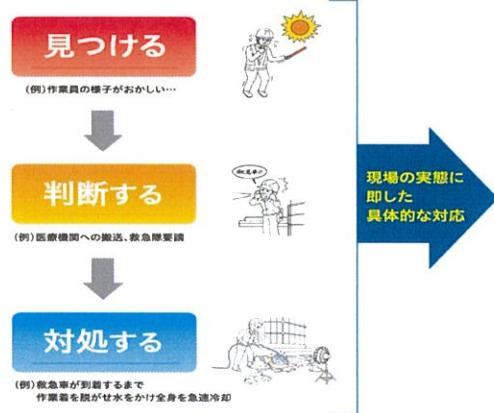
火曜日

2025年7月1日

発行元
神戸港湾労働組合連合会教育宣伝部

今回の労働安全衛生規則の改正について

基本的な考え方



“いつもと違う”と思ったら、熱中症を疑え

あれっ、何かおかしい

手足がつる

立ちくらみ・めまい

吐き気

汗のかき方がおかしい
汗が止まらない／汗がない

あの人、ちょっとへん

イライラしている

フラフラしている

呼びかけに反応しない



これも初期症状

何となく体調が悪い

すぐに疲れる

ポーッとしている

すぐに周囲の人や現場管理者に申し出る

熱中症対策の強化について・厚生労働省発行の資料引用

【編集後記】

身近なニュース・出来事があれば記事として取り扱いますので、神港労連事務所までご連絡ください。(取り扱いに関して事務局で精査した上で、掲載致します。)

078-371-5316

078-371-5340

組合員の皆様に於かれましては、日頃から安全作業に従事し大変ご苦労様です。今年は6月中に梅雨明けが発表され、過去最も早い梅雨明けとなりました。近年、高水準の気温が続く中、今年も猛烈な暑さが懸念されます。熱中症に対し警戒が必要であり、この度令和7年6月1日から労働安全衛生規則の改正により、職場での熱中症対策が義務化され各社対応が求められる状況となります。港湾労働に関して対策を講じるには他産業とは異なり難しい一面もあります。我々の活動では、神港労連・安全部会と教宣部で啓蒙活動を開き、熱中症対策として過去から続いているタブレット・ドリンク等の配布を行っています。

(神菱港運・宮西組合長と日本港運・米野執行委員長)



第3回安全部会で、熱中症対策の物品を配布すること確認し、各単組に安全部会から渡された。

6月初旬から船内・関連労使夏季一時金交渉が開催された。組合の要求趣旨では、一時金に対し年間通じて、安定して

夏季一時金交渉船内・関連共に昨年支給実績確保で妥結!!

(N&L・鈴木組合長とウシオ労働組合権原組合長)



生活していく為の重要な賃金である。昨年に引き続き物価高騰が続き、人手不足が解消されない中、日中夜現場作業に従事している組合員にとって、夏季一時金に対する期待感が大きいと言及した。吉岡委員長からは、組合の要求趣旨を理解し組合員が労働意欲の湧く回答を求めた。労使交渉を数回重ね、船内・関連労使交渉は「昨年支給実績を確保する」と合意した。



吉岡委員長からは、組合の要求趣旨を理解し組合員が労働意欲の湧く回答を求めた。